

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録

日 時 平成18年5月31日(水) 13:03～14:20
場 所 山形大学事務局3F第1会議室
出席者 中村三春(総務運営委員会委員長 山形大学:教員)
栗山恭直(山形大学:教員)
内田勝雄(県立保健医療大学:教員)
鈴木義昭(山形短期大学:教員)
伊東知之(羽陽学園短期大学:教員)
佐竹正行(山形大学:事務)
迎田伊三郎(山形大学:事務)
中嶋健治(東北芸術工科大学:事務)
池田浩一(東北公益文科大学:事務)
高橋勝重(県立米沢女子短期大学:事務)
半澤昌子(山形短期大学:事務)
巻 久(羽陽学園短期大学:事務)
佐藤 勉(鶴岡工業高等専門学校:事務 中嶋靖雄委員の代理)
中島博信(放送大学山形学習センター:事務)
高橋正浩(山形県)
欠席者 早坂 功(総務運営委員会副委員長 東北芸術工科大学:教員)
呉 尚浩(東北公益文科大学:教員)
嶋崎伸一(県立米沢女子短期大学:教員)
阿部愼悦(県立保健医療大学:事務)
長谷川守男(羽陽学園短期大学:事務)

議 題

1 平成17年度事業報告及び決算について

委員長から、資料1に基づき、事業概要報告があった後、事務局から、資料2に基づき収支決算状況と監査結果の報告があった。

次いで、質疑に移り、委員から、広報費50万円の未執行について質問があり、それに対して委員長から、広報誌を発行すべく計画していたが、年度内発行が間に合わなかったために翌年度へ繰越したものである旨説明があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、原案のとおり了承された。

2 平成18年度事業計画及び予算について

委員長から、資料3に基づき、各部会及び総務運営委員会の計画をとりまとめた事業計画概要について説明があった。主な内容は次のとおり。

- ・ 組織改編に伴い事項立てに一部変更があるが、基本的な内容は前年度と大きく変わるものではない。
- ・ 新規事業としては、大学入試センターとの共同事業による「山形県大学ガイダンスセミナー」を計画している。予算については、コンソーシアムに入るものでなく、必要経

費の支払いを大学入試センターで行う形となる。

- ・ 今年度から単位互換が動き出しているが、山形大学以外からもeラーニングの発信をすべく、2機関程度に配信用パソコン等の整備を計画している。
- ・ 教職員の交流・連携においては、今後のコンソーシアム運営という観点を含めて、「地域活動・学生活動に関する講演会・シンポジウム」を計画している。なお、この件については、地域活動部会と連携をとりながら進めることになる。
- ・ 今年度第3回目となる、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムにおけるシンポジウム「テーマ：大学の経営革命と大学連携」に本コンソーシアム会長（山形大学長）がパネリストとして参加することになっている。本コンソーシアムの取り組みも徐々に注目されてきており、分科会へも積極的に参加し、情報を発信していきたい。

次いで、事務局から、資料4に基づき、収支予算案及び各機関負担金について概要説明があった後、時間の関係で資料4に盛り込めなかった広報関係予算案について、広報担当の東北芸術工科大学から、席上配布資料（コンソーシアムやまがた2006年度広報事業・予算案）に基づき説明があった。広報関係予算についての主な内容は次のとおり。

- ・ (A)、(B)、(C)は優先順位の高い順である。
- ・ HPについては、機動的に更新作業を可能とすべく業者委託を考えた。
- ・ 新規提案のHPアクセス数の向上については、キーワードをoverture社に事前に登録しておくことによって、検索結果時に上位にリストされるもので、アクセス数の向上が期待できる。

次いで、全体について質疑応答があった。主な内容は次のとおり。（○：委員長、◇：委員）

- ◇ 事業計画書の前文に、今年度事業のキーワードとなる合同説明会、単位互換を入れてはどうか。
- その方向で修正する。
- ◇ 夏の合宿セミナーの開催地は最上地域とあるが、山形大学のエリアキャンパスもがみとの関連があるのか。
- 最上地域は高等教育機関のない地域であるとともに、コンソーシアム活動を県内に広げていきたいという考えもある。なお、当該3つの村からは承諾を得ている。
- ◇ 大学入試センターとの共同事業の収支予算書への計上については、事項のみとなっているが、別立ての方が良いのではないか。
- 大学入試センターとの共同事業については、委託事業でもなく、かつ、コンソーシアムに収入が入るわけではないので本資料のような記載としているが、再度収支予算書への計上について検討する。
- ◇ 例えば、年度の途中で予算不足が見込まれるような場合には、追加の機関負担金が発生するのか。
- これまではそのような状況になることはなく、逆に予算が執行できない状況の方が多かったので今年度もその心配はないかと思われる。例えば、eラーニングの関連機器を一気に整備するようなことがあれば不足が生じることも考えられるが、この点については計画的な整備を考えている。
- 高大連携の推進における先進地調査については、広島市も対象地であるが、行き先が固定的になってしまうこともあり、広島市を削除し、3人だけを記載することとしたい。

以上を踏まえて、委員長から「広報の充実」部分については、東北芸術工科大学の意見を踏まえつつ、全体予算枠に影響を及ぼさない範囲内で、事務局を含めて検討させていただき、6月1日までに修正案を各委員にお送りし確認いただくとともに、その他意見等があれば今週中にお願いしたい旨提案があり、了承された。

また、委員長から、本日の検討を踏まえ、6月5日（月）に開催される幹事会において審議いただくことになる旨説明があった。

3 その他

- ① 大学入試センターとの共同事業「山形県大学ガイダンスセミナー」について
委員長から、席上配布資料「平成18年度山形県大学ガイダンスセミナー」に基づき、事業計画の進捗状況について説明があった。主な内容は次のとおり。
- ・ これまで、県進学指導研究協議会事務局の山形北高校と詰めてきたが、先日、山形県の高校全体の会議があり、そこで話をだしていただき、日程と計画全体の大枠が確認された。高校生・保護者対象として、8月18日（金）東北公益文科大学キャンパス及び8月19日（土）山形大学小白川キャンパス、高校教諭対象として10月19日（木）山形テルサにおいて開催することが決まった。
 - ・ 特別講演、模擬授業等については、これから取り急ぎ決めていく。
 - ・ 今後、本件については、教育連携部会にお願いしていく。
- ② その他
事務局から、各機関に配置しているパンフレットスタンドを有効活用していただくとともにパンフレットの残部状況をお知らせ願いたい旨依頼があった。

(配布資料)

- | | |
|------|------------------|
| 資料 1 | 平成17年度事業概要報告書（案） |
| 資料 2 | 平成17年度収支決算書（案） |
| 資料 3 | 平成18年度事業計画書（案） |
| 資料 4 | 平成18年度収支予算書（案） |

席上配布	コンソーシアムやまがた2006年度広報事業・予算案 平成18年度山形県大学ガイダンスセミナー
------	---------------------------------------------------